えひめ日本語ネットワークNEWS
第14号 2021. 11

若草日本語教室の仲間たち

もう 20数年前のことである。えひめ日本語ネットワークの講座で日本語の教え方を勉強した人達が実際に外国人に日本語を教える場として「外国人のための日本語教室」が設立された。そのころ、松山に外国人は多くなかった。中国からの帰国者や留学生の家族、日本人の配偶者などが生活日本語を身につけるため、日本語教室が必要となった。「日本語のサポートをしたい人」と「習いたい人」のマッチングはうまくいったが、教える場、特に無料で使える場所がなくて苦労した。会員の経営する喫茶店の一角を無料で使わせていただいたり、学習者宅へ出向いて授業をしたりもした。授業料は無料、全くのボランティア活動であった。数年後、若草町の松山市総合福祉センターが無料でボランティア活動に使えるということがわかり、活動拠点を福祉センターに移し、名前も「若草日本語教室」に改めた。それ以来、20数年間外国人の日本語学習支援と日本人ボランティア教師育成の活動を続けて来られたのも、この「活動の場」があったからこそと感謝している。

若草日本語教室のメンバーは主に退職者、主婦、パート勤めの人達で、日本語支援のボランティア活動を通して、異文化理解を深め、住みよい地域社会づくりにそれぞれの技術、労力、時間を提供してくれている。中にはこの活動が生き甲斐だという人もいる。どうせボランティアだから、大したことはできないだろうと言う人もいるが、プロに勝るとも劣らぬ技術の持ち主もいる。かつて共に活動した仲間で、今は県外の日本語教育機関で活躍しているベテラン教師もいる。また、国際結婚で悩みを抱えている学習者の心を癒し、日本語能力試験の合格に導いた心優しいお母さんボランティアの存在は若草日本語教室にとって貴重なものである。

学習者は技能実習生、日本人の配偶者とその家族、留学生とその家族などだが、旅行や仕事で松山を訪れる短期滞在者もいる。去年の 4月に個人レッスンを予約したオーストラリアの F さんは、コロナ禍で来日旅行をキャンセル、来日できる日を待っている。短期学習者は主にヨーロッパの国々から短い期間を利用して日本語を勉強しようという殊勝な心掛けの人達で、日本文化や四国遍路にも興味を持っている人も多い。デンマークからの女性二人組曰く、「町で

は自動販売機で買えるけど、田舎へ行ったらお店の人と日本語で話さないと、買い物ができない。」「あした日本人の家に招待されているんだけど、どうすればいいの？」「日本語でお誕生日の挨拶は？」など、質問は尽きない。カタカナや漢字で自分の名前を半紙に書いて、即席の書道を楽しんだチェコの男性二人組も印象深い。「今度また松山に来たら、もっと日本語を教えて。」と言って別れて行く彼らとの出会いを大切にしたい。そして、今後も松山を訪れる親日派外国人が増えていくことを願っている。

長い間ボランティア教師をしていると、「先生」と呼ばれることに慣れっこになってしまい、つい「上から目線」で学習者に接してしまう。「先生＝知識のある人、上位者」「学習者＝知識のない人、下位者」という意識から、或いは、「日本の習慣を教えてやる」という気負いから、「わからないの。さっきも言ったでしょ。」と声を荒らげたり、遅刻した学習者に「遅い！今何時？」と雷を落としたりする。教えようとするから「上から目線」になる。共に学ぶ姿勢が大切ではないだろうか。教師は謙虚に、学習者に「寄り添う」サポートを目指したい。異言語、異文化の交流は互いに学び合えることが多いことを心に刻んでこの活動を続けていきたいと思っている。

(塩入愛子)

ボランティア日本語教師育成講座

宇野美登里先生を講師に迎え、初級I、初級II、実践コースのボランティア日本語教師育成講座を開催している。10月に初級クラスを対象にこの講座についてアンケート調査を行った。回答者12名。結果は以下の通りである。

1. どうしてこの講座を受講しようと思いましたか。

外国人に教えたい(3)、外国人と交流したい(3)のほか、外国人の質問に答えられない(2)、行政文書に困っている外国人を見た(1)、現在外国人をサポートしている(1)、大学で勉強したが、再勉強したい(1)、外国人が日本語をどうのように学ぶのかを知りたい(1)

2. 講座を受講して何か新しい気づきがありましたか。

今まで気づかなかった日本語の助詞やニュアンスの難しさ(7)、外国人に教える難しさ(3)、難しさの反面の面白さ(2)、外国人が間違えそうなところ(1)、日本語を見直すきっかけ(1)

3. この講座に望むことがあれば、お書きください。

楽しく受講している(3)、満足している(3)、わかりやすい(1)、勉強になっている(1)、外国人の参加があれば、もっとリアル感が増すと思う(2)

ご協力いただいた初級クラスの皆様、ありがとうございました。

「学びのコーナー」を考えてみました

「えひめ日本語ネットワーク」では、第2号より「学びのコーナー」を設け、宇野美登里先生に学習者の犯す間違いや日本語の類義表現などについてご執筆いただいております。

宇野先生からのメッセージ：

学習者からの質問は宝です。質問に啓発されて勉強することも多く、自分自身のスキルアップにつながります。どんな質問にも即座に学習者の納得を得られる解答ができるよう研鑽を積みたいものです。(「えひめ日本語ネットワーク NEWS」第10号2020年7月)

1. 初級の学習者の誤用文を正しく直して間違いを説明してください。(第3号　2017年3月)

＜誤用例＞　④ 先生 は ミラーさん に 辞書 を くれました。
⑤ 山田さん は 私 に プレゼント を あげました。

1）「あげました」「もらいました」は、どんな時に使いますか。

例）

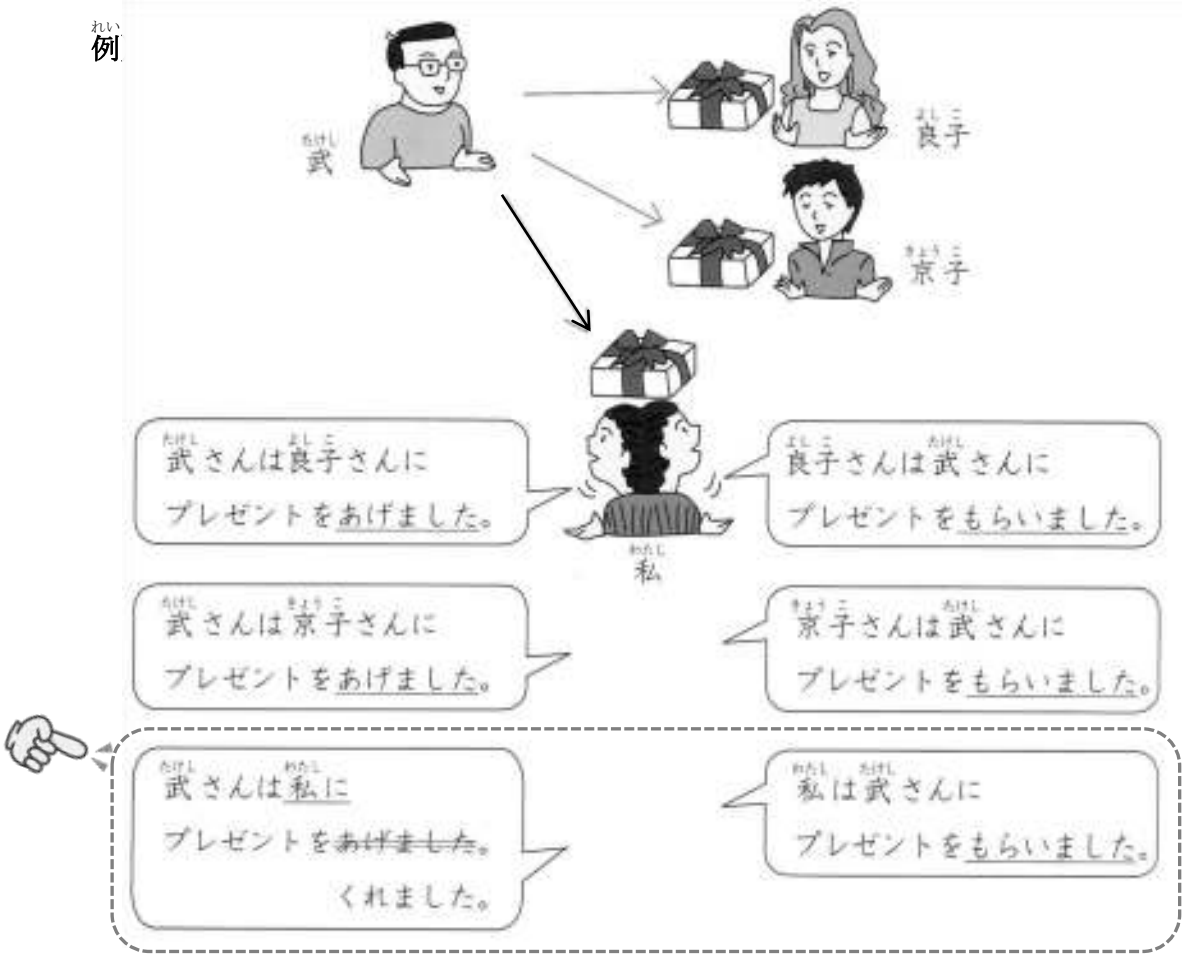
※「くれました」は使いません。

問題）先生 は ミラーさん に 辞書 を ＿＿＿＿＿＿＿＿。

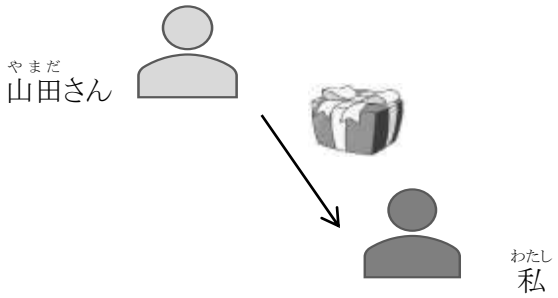
正しい文（答）	先生 は ミラーさん に 辞書 を あげました。
誤った文（誤用例④）	先生 は ミラーさん に 辞書 を くれました。

2）「くれました」は、どんな時に使いますか。

例



問題）山田さん は 私 に プレゼント を ＿＿＿＿＿＿＿＿。



正しい文（答）	山田さん は 私 に プレゼント を くれました。
誤った文（誤用例⑤）	山田さん は 私 に プレゼント を あげました。

（イラスト：『文化初級日本語Ⅱテキスト改訂版』第24課参照）

（家安省子）

2. 初級の学習者の誤用文を正しく直して間違いを説明してください。（第2号　2017年7月）

＜誤用例＞　毎朝7時ぐらいに起きます。

上記の誤用例で問題になるところは「7時ぐらいに」で、「7時ごろ」が正しい言い方です。

正しい：　毎朝7時ごろ起きます。

間違い：　毎朝7時ぐらいに起きます。

「ころ（ごろ）」は、時（時刻、～日、～月、～年など）について、その前後を大まかに、だいたいの時間を示します。「7時ごろ」は「だいたい 7時」という意味です。「名詞＋ころ」のときは、「ごろ」を使うことが多いです。

①夕方5時ごろ犬の散歩に行きます。

②あのカフェは 6月ごろ開店しました。

③これは 2000年ごろの写真です。

また、形容詞や「名詞＋の」の後ろは「ごろ」ではなく、「ころ」を使います。「とき」とだいたい同じ意味ですが、「とき」より広い範囲の「とき」を表します。

①若いころいろいろな国へ旅行しました。

②元気なころ毎朝ジョギングをしました。

③子どものころ大阪に住んでいました。

一方、「くらい（ぐらい）」は時間や期間、数量、年齢など量的なものに使われ、「だいたい～」と同じ意味です。

①3時間ぐらい寝ました。

②夏休みは 1か月ぐらい国へ帰ります。

②池に鯉が 20匹ぐらいいます。

③10歳ぐらいの子どもがいます。（10歳ごろの子ども」とは言いません。）

以前は「～くらい」と「～ぐらい」の使い方について使い分けがありましたが、現代では「3時間ぐらい」でも「3時間くらい」でもよいことになっています。ただし、「くらい」がどんなことばの後にくるかによって、ある程度区別する傾向があります。

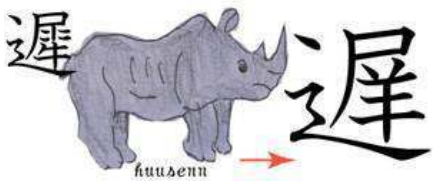
最近は「7時ごろ」を「7時ぐらい」と言う人もいますが、正しい使い方は「7時ごろ」です。「7時間」の後は「ぐらい」で、「7時間ぐらい」となります。　（酒井美香）

漢字のお話

ある日のこと、U先生は漢字について
Aさんからこんな質問を受けました。
Aさん：先生、どうして「遅い」には
「羊」がいるんですか。
先　生：あ、本当に「羊」がいますね。
どうしてでしょう？

（イラスト：『絵で導入・絵で練習』参照）

『遅（チ）』chí は、犀（サイ）がゆっくり歩く様子を表す漢字です。漢字の足し算では、辶（進む）＋犀（サイ・ゆっくり歩く）＝遅・遲（犀（サイ）がゆっくり歩く。遅い。遅れる）です。漢字の部首は『辶・しんにょう』、漢字の意味は『遅（おそ）い』、『遅（おく）れる』、『気長に待つ』です。



犀（サイ）は書くのが大変なので、省略した字体の 羊 が使われます。遅（チ・おそい）は中学生で習う常用漢字です。

（http://huusennarare.cocolog-nifty.com/blog/2014/12/post-d55b.html 参照）

最近のニュース

❖10月20日に第64回愛媛県社会福祉大会において優良ボランティア団体として愛媛県社会福祉協議会会長賞をいただくことができました。これも先生のご指導と皆様の活動へのご参加・ご支援の賜物と心より感謝いたします。これからもよろしくお願いいたします。

❖6月にえひめ日本語ネットワークに 5,000 円のご寄付をいただきました。私たちの活動にご理解・ご支援をいただき、深く感謝申し上げます。会の発展のために活用させていただきたく思います。ありがとうございました。

❖2021年7月に発行予定の「えひめ日本語ネットワーク NEWS　13号」は新型コロナ感染拡大防止のため休刊とさせていただきました。

問い合わせ先： えひめ日本語ネットワーク事務局
Email ： ehime-nihongo@nifty.com